港湾クレーン用遠隔監視・保守システム（遠隔モニタリングシステム）

近年，地方港湾にも大型クレーンの需要が増えてきたが，主要港湾のようなクレーンのメインテナンス体制の確立が難しく，それを解決すべくIT技術を応用した遠隔モニタリングシステムを開発した（図1）．

本システムは，客先のクレーン（リモート局）と当社広島製作所メインテナンスセンタ（ホスト局）とを電話回線で接続し，クレーンに故障が発生すると自動的にその情報をホスト局へ送信する．

これにより客先では対処の難しい故障でも，当社メインテナンスセンタで，現地の状態や故障履歴が確認できるため，専門技術者の適切な診断及び復旧処置が取れるのでクレーンのダウンタイム減少が可能となる．

1．製 品 機 能

(1) 自動故障発生通知
故障発生時，故障データを当社ホスト局へ自動送信

(2) 故障発生時のクレーン状態表示
故障発生前後のクレーン状態をトレンドデータ等で表示

(3) リアルタイム表示
現在のクレーン状態をリアルタイムで表示

(4) 故障履歴表示
過去に発生した故障内容を時系列に表示

(5) 故障復旧ガイダンス表示
Webを用いたユーザーに分かりやすい故障復旧ガイダンス表示（図2）

(6) ファイルデータ送信
ディジタルカメラで撮影した画像等のファイルデータを送信

(7) 予備品在庫情報
予備品の在庫情報を表示

(8) 定期点検情報
定期点検の結果を表示

2．用 途

本装置の用途はコンナテクレーンのほか，アンローダ・スタッカ・リクレーマ等にも対応できる．

3．特 長

(1) 経済性
現地リモート局と当社ホスト局との通信インフラとして，携帯電話を採用することにより，通信設備に関するクレーンの改造工事も必要なくなり，短納期・低価格を実現．

(2) 信頼性
クレーン故障によるダウンタイムの減少により，荷役作業の信頼性向上．

（広製 鉄構技術部運搬機改良サービスグループ 津民
☎（082）292-3139）
本社営業窓口 鉄構建設事業本部搬送システム部
運搬機グループ
☎（03）3212-9150

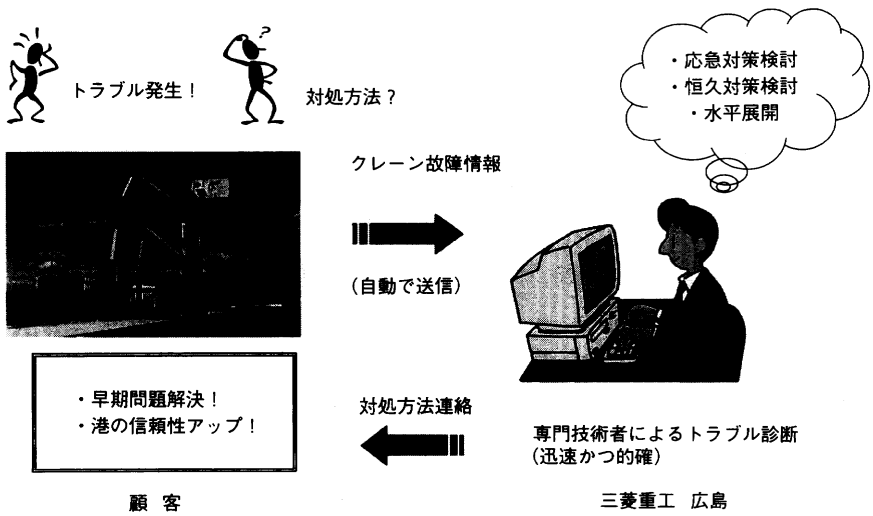

図1 遠隔モニタリングシステム概要

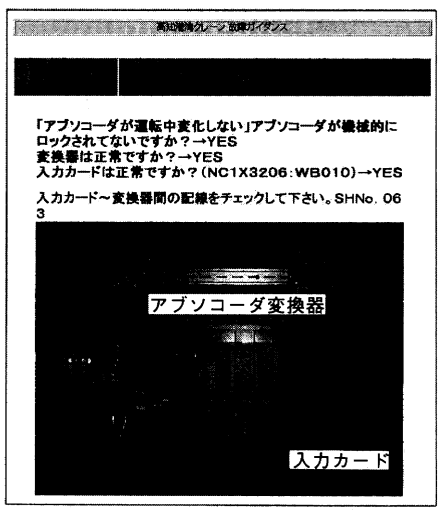

図2 Webを利用した故障復旧ガイダンス